

1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) 父親は地主だ。
 (2) 幸いにもけがはない。
 (3) おやつを平等に分ける。
 (4) ロボットが完成する。
 (5) スミビで魚を焼く。
 (6) 家のハシラに頭をぶつける。
 (7) 日米のリガイが一致する。
 (8) 教室でのセキジュンを決める。

2

次の(1)～(5)の——線部は、あとの□の部分でどんな形になりますか。(例)にならって、それぞれの□に入るひらがなを、一字あるいは二字で書いて答えなさい。

(例)「書く」

- ① 名前を書□ます。
 ② 名前を書□う。 ▽(答え) ① き ② こ
- (1)「待つ」
 ① バスが来るのを待□う。
 ② 父の帰りを待□ないで夕食をすませた。
- (2)「読む」
 ① 図書館でかりた本を読□だ。
 ② 問題をよく読□ば、まちがえない。
- (3)「暗い」
 ① 暗□なる前に家に帰る。
 ② もっと暗□ば、星が見えるはずだ。
- (4)「すずしい」
 ① 冷房のきいた室内はすずし□た。
 ② 秋の北海道はさぞかしすずし□う。
- (5)「静かだ」
 ① どうか静か□してほしい。
 ② 静か□場所がすきだ。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

M子ちゃんとは小学校三年生で同じクラスになった。^①おとな

になってふりかえると、何ともふしぎな関係だった。放課後や休

日はお互いの家を行き来して、食事までいっしょにするのに、学

校ではなぜか遊ばない。ふたりともが学校では他の子と過^すごした。

放課後遊ぶのは家が近いからかというところでもない。ふたりの

家は*疎水^{そすい}べりの《哲学^{てつがく}の道^{みち}》をはさんで東と西。行くには*市

電の走る道路を渡^{わた}り、坂道を上り、子どもの足では二〇分以上か

かったのではないだろうか。その道をせつせと通いあう。

そのM子ちゃんが四年生の冬に交通事故^{じこ}に遭^あった。そして、傷^{きず}

が治^なって学校にでてくることなく引越^こしていった。教室でさよ

ならの挨拶^{あいさつ}もないままに。

普通^{ふつう}ならふたりのつながりはここで終わりになると思う。でも

違^{ちが}った。私は二〇分ほどバスにゆられて、M子ちゃんの引越

し先^{さき}まで遊びにいった。M子ちゃんもバスに乗って、我が家^{わが}にや

ってくる。その後M子ちゃんはさらに遠くに引越したが、行き

来は続^{つづ}いた。

ここまで惹^ひかれあうのは、^②M子ちゃんと私の性格^{せいかく}が似^にて

からか、というところでもない。M子ちゃんは私の友だちの中で

はめずらしい「シャキシヤキ」「サバサバ」という言葉^{ことば}がびった

りの女の子。私は「シャキシヤキ」「サバサバ」とは程遠^{ほどとほ}いと自

分では思っている。

20

15

10

5

ほくろがあった。出会って間もない頃^{ころ}だと思^{おも}う。我が家にきたM子ちゃんを見て、祖母^{そぼ}が「あれは、運をつかむほくろやで」と私に教えてくれた。「へええ、しあわせになれるほくろなんや」と幼^{おきな}い私は心から信じた。

クラスの子がほくろをからかうことはなかったし、M子ちゃんもほくろを気にしているふうでもなかった。

ただある日我が家にきたとき、^③風呂敷^{ふろしき}を首^{くび}にまいて*月光^{げつこう}

仮面^{かめん}になった弟^{てい}が、「サタンの爪^{つめ}!」とM子ちゃんの顔を指さし

た。《サタンの爪^{つめ}》は月光仮面にでてくる悪者^{あくもの}だ。恐^{おそ}ろしい顔の

おてこには、ダイヤのマークがついていた。弟のいうことなど、

ふだんは^④カラカラと笑い飛ば^{はな}すM子ちゃんが、そのときハラハ

ラと涙^{なみだ}をこぼした。^⑤私はそばにいたのに、何も言^いってあげら

れなかった。

この日のことを思い出すと、^⑥今でもちくちくと心^{こころ}が痛^{いた}む。

その思いを核^{かく}に「ほくろ ほくろ ほくろ」という短編^{たんぺん}を書い

た。そして、*アンソロジーに掲載^{けいさい}の機会^{きかい}を頂^{いただ}いた。

鼻^{はな}の穴^{あな}の入り口に黒いほくろがある男の子の話だ。「鼻くそつ

いてるよ」とからかうクラスの子たちの前で、作中の女の子が私

の言えなかった言葉をきっぱりと喋^{しゃべ}ってくれた。「これはしあわ

せばくろだよ。うちのおばあちゃんが喋^{しゃべ}ってたよ」――。

(中略^{ちゅうりやく})

M子ちゃんと出会^{であ}って半世紀^{はんせいき}以上がたつ。今もときどき電話を

しあい、旅行に行くこともある。住まいは東京と京都。決して近

いとはいえない。共通^{きょうつう}の趣味^{しゅみ}もいまだにない。*だのになぜか

45

40

35

30

25

……続いている。

そうだ。こんど電話で聞いてみよう。

「私らずーつといっしょやねえ。なんでやるねえ」

M子ちゃんはどう答えるだろう。

「そんな、ようわからんこと聞かんといて」

カラカラと笑いながら、いいそうな気がする。

ふたりの関係はなんだかふしぎなまま、この先もずっと続いていく——私はそう思い、願っている。

〈松本聰美「ふしぎな関係」より〉

(注) 疎水Ⅱ土地を切りひらいてつくった水路。

市電Ⅱ市内を走る路面電車。

月光仮面Ⅱ昭和に放送されたヒーロー物の実写ドラマ。

アンソロジーⅡいろんな作家の文章を集めた本。

だのにⅡなのに。

(1) ———線①「おとなになってふりかえると、何ともふしぎな関係だった」とありますが、「私」は、M子ちゃんとの関係のど

んな点がふしぎだと感じていますか。次からふさわしくないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 放課後や休日に遊んで、学校では遊ばなかった点。

イ M子ちゃんが引っこしてから仲よしになった点。

ウ 家が遠くても、おたがいの家を行き来した点。

エ 性格がまったくちがうのに仲がよかった点。

(2) ———線②「M子ちゃんと私の性格」とありますが、本文中に

書かれている①M子ちゃんと②「私」の性格としてふさわしいものを、それぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 冷静で用心深く、落ち着いた性格。

イ 内向的でおとなしく、くよくよする性格。

ウ 活発で明るく、あっさりしている性格。

エ 自分勝手に気が強く、いばっている性格。

オ 思いやり深く、みんなにやさしい性格。

(3) ———線③「風呂敷を首にまいて月光仮面になった弟が、『サ

タンの爪!』とM子ちゃんの顔を指さした」とありますが、弟がそうした理由を説明した次の文の□に入るふさわしいことばを、それぞれ本文中から、Aは三字、Bは七字で書きぬいて答えなさい。

〈弟は、M子ちゃんのおでこの□Aが「サタンの爪」のおでこの□Bに似ていると思ったから。〉

(4) ———線④「カラカラと笑い飛ばす」が表している様子としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 問題にせず、さわやかに高く笑う様子。

イ つつしみ深く、静かにはほえむ様子。

ウ こらえきれずに、思わず笑い出す様子。

エ 相手を見下して、あざ笑う様子。

(5) ———線⑤「私はそばにいたのに、何も言ってあげられなかった」とありますが、大人になった「私」は、このとき何と言えはよかったと思っていますか。ふさわしいことばを本文中から二十八字（。も字数に数えます）でさがし、その最初と最後の

五字を書きぬいて答えなさい。

- (6) — 線⑥ 「今でもちくちくと心が痛む」とは、「私」のどんな気持ちを表していますか。次からふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア なつかしみ、ほのぼのとする気持ち。

イ 残念に思い、くやむ気持ち。

ウ 不思議がり、心が晴れない気持ち。

エ はらを立て、いらだつ気持ち。

- (7) 本文中の「私」についての説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「私」は、子どものころにM子ちゃんと自分の関係を周りにかくしていたことをくやんでいる。

イ 「私」は、今のM子ちゃんに「私」のどんなところがよかったのかを聞きたがっている。

ウ 「私」は、M子ちゃんとの長い付き合いが今も続くのがうれしく、よろこびを感じている。

エ 「私」は、自分の家とM子ちゃんの家がもつと近く、共通の趣味があればよかったと思っている。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ヨーロッパに行くと、街の中をイヌを連れて歩いているお年寄りをよく見かけます。日本のように子どもがイヌを連れて散歩している姿なんて、まず見あたりません。

だからといってヨーロッパの子どもたちがイヌや動物をきらいというわけではありません。それどころか、動物を大切にすることは、日本人の大人や子どもたちよりも強いでしょう。幼いときから家庭の中で、生きものはどうあつかうかということをしつかりと身につけているのです。それで①イヌやネコなどのペットをやたらに飼いたいという子どもがいないのだそうです。

日本人の私たちは生きものを飼うことをどのように考えているのでしょうか。

② 私たちがイヌを飼いたいな、ネコを飼いたいな、と思ったとします。子どもだったら、まずお父さん、お母さんに話すでしょう。ペットを買ってとせがむかもしれません。もしそこでお父さんやお母さんが、「はい、いいよ。自分で世話をするからね」といえば、③「自分でやるよ」と子どもたちは答えるに決まっています。

③ こうした口約束でペットを飼い始めたら、どうなるのでしょうか。

④ 「飼う以上は責任を持ちなさいよ」ってお父さんやお母さんは言うでしょう。でも、子どもが生きものに対して責任を持つなんて、そして大きな負担を背負うなんて、⑤できるのでしょうか。

うか。

ペットを飼うということは、そのペットが死ぬまでつき合うことですから、子どもひとりできっこないのです。「飼っていいよ」と許可を与えた以上、いいよと言った大人のほうにも責任があるのです。

私は動物園でたくさんの野生の生きものたちとかかわってききましたが、動物園というのは私の職場であって、飼うことを職業としたから続けてこられたのです。もし私が動物が好きだから飼っていたということになると、いくら動物好きでもときには面倒くさくなることだってあるでしょう。それで、③ 生きもの

あつかいを知らないとペットは飼い続けられません。

それでは、生きものはどうあつかえばいいのでしょうか。
それに答える前に、ちょっと考えてみてください。きみは、チヨウやトンボなどの昆虫採集をしたことがありますか。ザリガニつりや魚つりをしたことはありますか。

(中略)

小さな庭の中で、公園の草むらや池の中で、小さな生きものたちが生きて暮らしているのを、きみがどう感じるかがとても大切なのです。魚つりや虫とりをしていて、きみがもし生きものたちに感動することがあったら、そうした感動をいくつも重ねていけば、おおげさに考えなくても自然に生きもののおかげがわかってくるでしょう。

そうすれば、もしきみがイヌを飼いたいと思ったときも、いま飼えるか、自分の家で飼えるのか、死ぬまでつき合えるかという

判断をすることができるようになるでしょう。

④、魚つりも虫とりもしたことがなく、自然のなかの小さな生きものたちの暮らしぶりを観察したこともないとしたら、ペットを飼うのはどうかと思います。ペットはぬいぐるみの人形や電気で動くおもちゃではないのです。かわいいうちだけ飼い、大きくになると捨ててしまうのでは、動物たちがかわいそうです。こんな人間の身勝手さが許されたいはずはありません。

生きものを飼うことは、その生きものの一生を引き受けたよ、ということですよ。えさ、運動、フンやおしっこ、始末、飼育箱や小屋の清掃や手入れ、病気の予防、病気になったときの処置など、細々とした世話をまめにしなくてはなりません。子供を産んだり卵を産んだら、その面倒も見なければなりません。もし死んでしまったら、後始末もきちんとやらなくてはならないのです。そして、どうしても飼育が手にあまるような場合には、ほかに適当な方法がないのなら、ときには「* 始末」が必要なこともあるのではないのでしょうか。⑤ 生きものを飼うとは、そういうことなんだと、私は思います。

〈杉浦宏「しあわせかい？ 不忍池のドガモたち」より〉

©JIKSI4-23-01

(注) 始末⑤ ここでは、ペットを保健所に引きわたすなどして死なせること。

(1) ① ④ に入るふさわしいことばを、それぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じものは二度選ばれません)

ア よほど イ けっして ウ もし
エ はたして オ まさか カ おそらく

(2) ——— 線① 「イヌやネコなどのペットをやたらに飼いたいという子どもがいない」とありますが、その理由としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ヨーロッパの子どもは、ペットを飼うことの責任の重さがわかってるから。

イ ヨーロッパの子どもは、ペットとして生きものを飼うことが好きではないから。

ウ ヨーロッパの子どもは、親からペットを飼うことを止められているから。

エ ヨーロッパの子どもは、ペットになる生きもののあつかい方を知らないから。

(3) ——— 線② 「私たちがイヌを飼いたいな、ネコを飼いたいな、と思ったとします」とありますが、ペットを飼いたいと思ったとき、私たちはまずどうすることが必要だと筆者は考えていますか。ふさわしいことを本文中から三十八字（も字数に数えます）でさがし、その最初と最後の五字を書きぬいて答えなさい。

(4) ——— 線③ 「こうした口約束」とは、だれが何をするという約束を指していますか。「くという約束」という形で、二十五字をこえないように（、や。も字数に数えます）書いて答えなさい。

(5) ——— 線④ 「『飼う以上は責任を持ちなさいよ』ってお父さん

やお母さんは言うでしょう」とありますが、このような親に対する筆者の考えとしてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 子どもの責任感を育てるためにも、親は子どもにどんな責任を持たせるべきだ。

イ 責任を持つという子どもの言葉を聞いても、親はそれすらなおに信じてはいけない。

ウ 子どもは大きな責任を持たないの、飼うことをゆるした親もその責任を持たねばならない。

エ 子どもが責任を持てるかどうかはわからないので、親は注意深く子どもを見守る必要がある。

(6) ——— 線⑤ 「生きものを飼うとは、そういうことなんだ」とありますが、「そういうこと」が指していることとしてふさわしくないものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 生きもののこまごまとした世話をまめに、その子供や卵の面倒もみること。

イ 生きものが自然にいるときと同じようにのびのび暮らせるようにくふうすること。

ウ 生きものが死ぬまで面倒をみて、死んだあとの後始末もきちんと言うこと。

エ どうしても飼えなくなればその生きものを死なせることまで決意できること。

(7) 本文中の筆者の考えに合っているものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本の子どもが気軽にペットを飼えるのは、親が生きもの
のあつかい方をあらかじめ教えているからだ。

イ イヌやネコなどのペットを飼う前に、まず魚や虫などの小
さな生きものを飼って練習するのが望ましい。

ウ 飼えなくなったペットを保健所で「始末」するぐらいなら
ば、どこかへ捨てて、生き残りを願う方がよい。

エ 生きものに対していなく感動を重ねることで、そのあつか
い方が身に付き、ペットを飼うことができる。

(これで問題は終わります)



1 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 次の計算をしなさい。ただし、⑥と⑧はあまりも求めなさい。

① $185 + 3894$

② 627×26

③ $7.4 - 3.5$

④ $\frac{11}{15} - \frac{2}{15} - \frac{7}{15}$

⑤ $78 \div 6$

⑥ $87 \div 5$

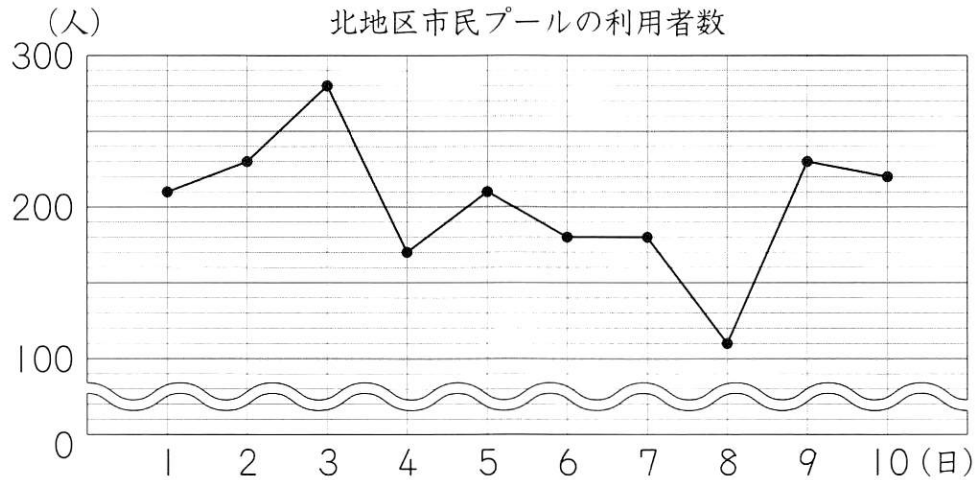
⑦ $936 \div 4$

⑧ $583 \div 7$

(2) 208mLのひりょうを、8この植木ばちに同じ量^{りょう}ずつ分けて入れます。植木ばち1こに何mLのひりょうを入れればよいですか。

(3) しょうさんは、たくさん、りくさん、あやさん、なつさんの4人をさそって水族館に行きました。駅で待ち合わせて、電車に乗って行きます。電車ちゃんは、しょうさんが5人分をはらって900円でした。水族館の入館料^{にゅうかんりょう}は、あやさんが5人分をはらって875円でした。このとき、1人分の電車ちゃんと入館料は、合わせて何円でしたか。

- 2 下の折れ線グラフは、北地区にある市民プールの1日の利用者数を、8月1日から10日まで調べて表したものです。これについてあとの問いに答えなさい。なお、解答欄には答えのみ書きなさい。



- (1) たてのじくの一目もりは何人を表していますか。
- (2) 利用者数が最も多かったのは、何日で何人でしたか。
- (3) 8月2日から10日のうち、利用者数が前の日より多かった日は何回ありましたか。
- (4) 次の表は、南地区にある市民プールの1日の利用者数を、8月1日から10日まで調べて表したものです。これについてあとの①、②に答えなさい。

南地区市民プールの利用者数

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数(人)	160	170	240	210	270	240	160	190	290	250

- ① 市民プールの利用者数について、南地区の方が北地区より多かった日は何回ありましたか。
- ② 2つの地区の市民プールの利用者数について、同じ日の利用者数のちがいが最も大きかった日は何日で、ちがいは何人でしたか。

3

次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 七兆二千四十億九百万を、0, 1, 2, …などの数字だけを使って表しなさい。

(2) 1000万を900に集めた数を答えなさい。

(3) 次の□にあてはまる数を答えなさい。

① 1兆円の $\frac{1}{10}$ は□億円です。

② 1万円さが□まいで、1億円です。

(4) 右の図1のような、1から8までの数字を1つずつ書いた8まいのカードがあります。これらを、図2の8この□に1まいずつあてはめて、9けたの整数をつくります。たとえば、□から順にあてはめて、□1□2□3□9□4□5□6□7□8 となれば、123945678ができます。これについて次の①、②に答えなさい。

図1

1 2 3 4 5 6 7 8

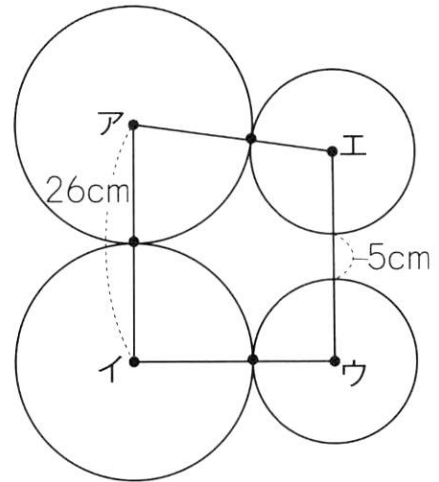
図2

□ □ □ 9 □ □ □ □ □

① つくることができる整数のうち、最も大きい数を、1, 2, …などの数字だけを使って答えなさい。

② つくることができる整数のうち、5億に最も近い数を、1, 2, …などの数字だけを使って答えなさい。

- 4 右の図のような、点ア、点イをそれぞれ中心とする半径が等しい大きい円が2つと、点ウ、点エをそれぞれ中心とする半径が等しい小さい円が2つあります。これについて次の問いに答えなさい。なお、解答欄には答えのみ書きなさい。



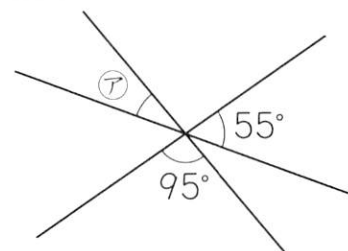
(1) 点アを中心とする円の半径は何cmですか。

(2) 四角形アイウエのまわりの長さが93cmのとき、点ウを中心とする円の半径は何cmですか。

- 5 次の問いに答えなさい。なお、解答欄には答えのみ書きなさい。

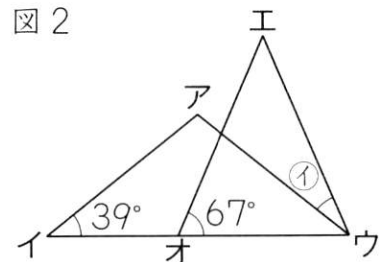
(1) 右の図1で、アの角の大きさは何度ですか。

図1



(2) 右の図2で、三角形アイウはアイとアウの長さが等しい二等辺三角形、三角形エオウはエオとエウの長さが等しい二等辺三角形で、点オはイウの上にあります。①の角の大きさは何度ですか。

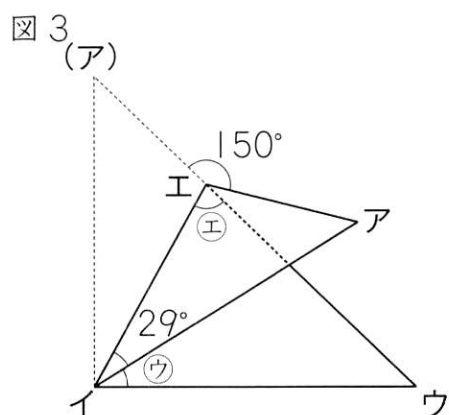
図2



(3) 右の図3のように，直角三角形アイウを，直線イエで折り返しました。これについて次の①，②に答えなさい。

① $\angle \text{ウ}$ の角の大きさは何度ですか。

② $\angle \text{エ}$ の角の大きさは何度ですか。



(これで問題は終わりです)

かいとうらん
解答欄

解答用紙

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

8 4

18 16 14 12 10

22

		5
と		
い		
う		
約		
束		
。		

32

33



※答えは、はっきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。
 また、解答欄からはみ出してはいけません。
 ※記号の「ア」と「イ」、数字の「1」と「7」などは区別をつけてはっきりと書きなさい。
 ※解答欄には答えのみ書きなさい。

① 9月テスト 小4算数 解答用紙

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

4A 算-9

②会場コード(右ゾメ)	⑧区分	⑨受験番号	⑩科目	氏名
	1	4男 女9	A 2	

⑪総得点	100
------	-----

3点 × () 小計 /24	①		1
			2
			3
			4
4点 × () 小計 /8	(1)		5
			6
			7
			8
4点 × () 小計 /20	(2)	mL	9
			10
			11
			12
4点 × () 小計 /20	(3)	円	13
			14
			15
			16

4点 × () 小計 /24	③	(1)		16			
		(2)		17			
		(3) ①	(億円)	18	②	(まい)	19
		(4) ①		20			
4点 × () 小計 /24	④	(1)		21			
		(2)		22			
		(3) ①		23			
		(4) ②		24			

4点 × () 小計 /24	⑤	(1)	度	25
		(2)	度	26
		(3) ①	度	27
		(4) ②	度	28

かいとう
算数解答

1	(1)	4079	1
	(3)	3.9	3
	(5)	13	5
	(7)	234	7
	(2)	26	9
	(3)	355	10

3点
()
小計
/24

4点
()
小計
/4

2	16302	2
4	$\frac{2}{15}$	4
6	17 2 あまり	6
8	83 2 あまり	8

2	(1)	10	人	11		
	(2)	(8月) 3 日	280	人	12	
	(3)	4	回	13		
	(4)	6	回	14		
		(2)	(8月) 8 日	80	人	15

4点
()
小計
/20

3	(1)	7204009000000	数字指定	16	
	(2)	90億 [90000000000]		17	
	(3)	1000 [千] (億円)	10000 [1万] (まい)	19	
	(4)	876954321	数字指定	20	
		(2)	487965321	数字指定	21

4点
()
小計
/24

4	(1)	13	cm	22	
	(2)	9	cm	23	
5	(1)	30	度	24	
	(2)	28	度	25	
		(3)	32	度	27

4点
()
小計
/24

かい 解 説

1 (1)④ $\frac{11}{15} - \frac{2}{15} - \frac{7}{15} = \frac{9}{15} - \frac{7}{15} = \frac{2}{15}$

(2) $208 \div 8 = 26(\text{mL})$

(3) 1人分の電車さんは、 $900 \div 5 = 180(\text{円})$ 、1人分の入館料は、

$875 \div 5 = 175(\text{円})$ だから、合わせて、 $180 + 175 = 355(\text{円})$

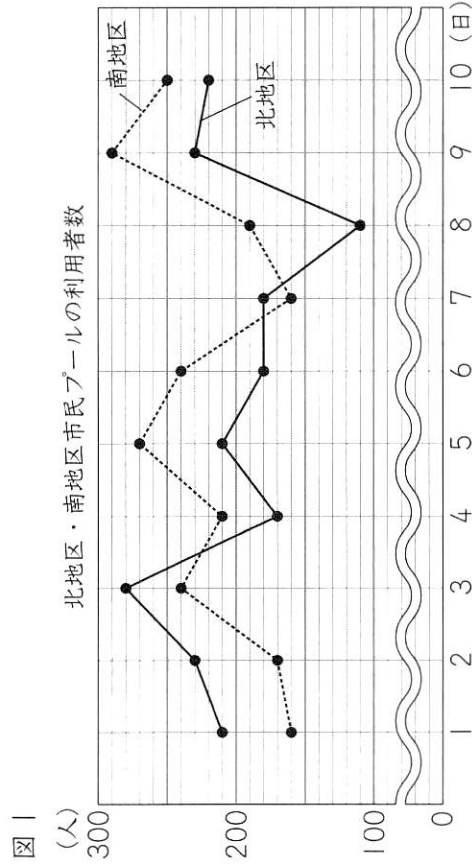
*5人分の電車ちゃんと入館料の合計は、 $900 + 875 = 1775(\text{円})$ だから、1人分は、 $1775 \div 5 = 355(\text{円})$ と求めてもよいです。

2 (1) 10目もりで、 $200 - 100 = 100(\text{人})$ を表しているから、1目もりは、 $100 \div 10 = 10(\text{人})$

(2) グラフの点が最も上にある日を読み取ります。グラフの点が最も上にあるのは3日で、200人と8目もり(80人)で280人です。

(3) グラフの折れ線は、前の日より多くなると右上がりになります。右上がりになっているのは、2日、3日、5日、9日の4回です。

(4) 南地区の利用者数をグラフにかきこむと、下の図1のようになります。



① 同じ日で、南地区の利用者数を表す点が北地区の利用者数を表す点より上になっているところを読み取ります。4日、5日、6日、8日、9日、

10日の6回です。

② 同じ日で、2つのグラフの点が最もはなれている日を読み取ります。最もはなれているのは8日で8目もりだから、ちがいは80人です。

*8日のそれぞれの人数は、南地区の市民プールが表より190人、北地区の市民プールがグラフより110人だから、 $190 - 110 = 80(\text{人})$ と求めてもよいです。

3 (1) 位取りの表に数をあてはめると、右の図2のようになります。

図2

一	千	百	十	億	一	千	百	十	一
兆					万				
7	2	0	4	0	0	9	0	0	0

(2) 1000万が10こで1億だから、1000万が100こで10億、900こでは90億になります。

(3)① 整数を $\frac{1}{10}$ にすると位が1つ下がり、右はしの0を1ことった数になります。一兆の位の1つ下の位は千億の位だから、1兆円の $\frac{1}{10}$ は1000億円です。

② 1万が10000こで1億です。

よって、1億円は1万円さつが10000まいです。

(4)① 数字カードの数字を大きい順に左から□にあてはめると、最も大きい数ができます。よって、最も大きい数は876954321になります。

② 5億より大きくて5億に最も近い数は512934678で、5億とのちがいは、 $512934678 - 500000000 = 12934678$ です。5億より小さくて5億に最も近い数は487965321で、5億とのちがいは、 $500000000 - 487965321 = 12034679$ です。

$12934678 > 12034679$ だから、5億に最も近いのは、487965321です。

4 (1) 点アと点イを中心とする円の半径

は等しいから、右の図3で、アオの長さとオイの長さは等しいです。

よって、点アを中心とする円の半径アオは、 $26 \div 2 = 13$ (cm)

(2) 等しい半径に同じ印をつけると、図3のようになります。

アケ+アイ+イカ=13+26+13=52(cm)だから、

ケエ+エウ+ウカ=93-52=41(cm)で、点ウを中心とする円の半径ウカの4つ分の長さは、 $41 \div 5 = 36$ (cm)になります。よって、点ウを中心とする円の半径は、 $36 \div 4 = 9$ (cm)

5 (1) 等しい大きさの角をかきこむと、下の図4のようになります。

よって、 $\text{ア} = 180 - 55 - 95 = 30$ (度)

(2) 下の図5で、二等辺三角形のせいしつより、 $\text{イ} = 39$ 度、 $\text{イ} + \text{オ} = 67$ 度になります。

よって、 $\text{イ} = 67 - 39 = 28$ (度)

図4

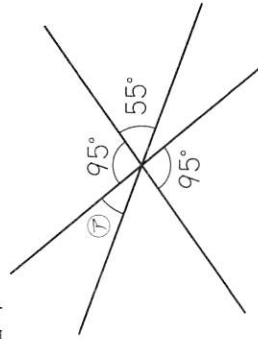
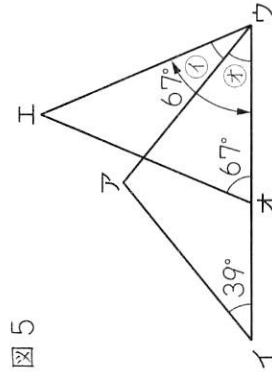


図5



(3) ① 右の図6で、折り返した角の大

きさは等しいから、 $\text{イ} = 29$ 度です。 $\text{ウ} = 90 - 29 - \text{イ}$

$= 90 - 29 - 29 = 32$ (度)

② $\text{イ} + \text{ウ} = 360 - 150$

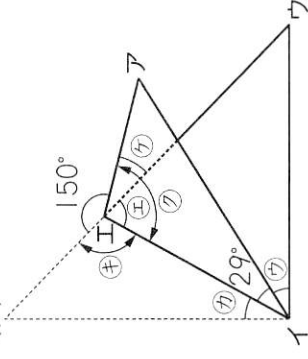
$= 210$ (度)、折り返した角の大きさは等しく、 $\text{イ} = \text{ウ}$ だから、

$\text{イ} = 210 \div 2 = 105$ (度)です。

よって、 $\text{イ} = 180 - \text{イ} = 180 - 105 = 75$ (度)

* $\text{イ} = \text{ウ} = 105$ (度)を求めたあと、 $\text{イ} = 180 - 150 = 30$ (度)だから、 $\text{イ} = 105 - 30 = 75$ (度)と求めてもよいです。

図6



国語^{かいご}解答

[illegible]

かいせつ

1 漢字の読み書き

2 ことばの変化

- (1) (5) 「待つ」「読む」のように、ものの動きや働き、存在を表すことばや、「暗い」「すすしい」「静かだ」のように、物事の様子や性質を表すことばは、あとに続くことば(「ない・う・ます・た・こと・ば」など)によって形が変わります。

3 随筆(松本豊美「ふしぎな関係」より)

- (1) M子ちゃんが交通事故にあって引越す以前から「私」とM子ちゃんとは仲よしだったので、イはふさわしくありません。
- (2) M子ちゃんの性格は、「シヤキシヤキ(動作や態度などがはつきりしているさま)」「サバサバ(こたわりが少なく、さつぱりしているさま)」から考えます。「私」の性格は、『シヤキシヤキ』『サバサバ』とは程遠い」とあるので、M子ちゃんとは正反対の性格を選びましょう。
- (3) M子ちゃんのおてこには黒々としたほくろがあり、「私」の弟は、それを「サタンの爪」のおてこにあるダイヤのマークに見立てています。
- (5) 「ほくろ ほくろ ほくろ」という作品の中で、ほくろをからかわれた男の子に女の子が「これはしあわせほくろだよ」と言っています。これは、M子ちゃんが「サタンの爪」と言われて泣いていたとき、M子ちゃんのほくろが「しあわせになれるほくろ」だとおばあちゃんから聞いていたのに何も言ってやれなかった「私」の経験をもとにしています。
- (6) 「今でも」ということばから、M子ちゃんに「しあわせになれるほくろ」だと教えてやれなかった「私」が引きずっている後悔の気持ちが読み取れます。

4 説明的文章(杉浦宏「しあわせかい? 不忍池のドガモたち」より)

- (1) ① 空らんの直後で、「自分でやるよ」と子どもたちが答えることを筆者が予想していることから、予想する言い方に結びつくことばを選びます。
- ② このあとの「〜できるのでしょうか」と問いかける言い方に結びつくことばを選びます。
- ③ 生きもののあつかいをよく知っておかなければペットは飼えないという筆者の考えから、空らんのあとの内容を強調することばが入るとわかります。
- ④ 空らんのあとの「〜観察したこともないとしたら」と仮定する言い方に結びつくことばを選びます。
- (2) 直前の「それで」は前に理由があることを表すので、この前の部分から、日本の子どもたちが、ヨーロッパの子どもがイヌやネコをやたらに飼いたがらない理由をとらえましょう。
- (3) 答えの直前の「もしきみがイヌを飼いたいと思ったときも」がヒントになります。
- (4) すぐ前にある「自分でやるよ」では、だれが何を自分でやると言っているのかを考えて、それをおぎなうて答えを書きましょう。
- (5) 直後の段落の「(ペットを飼っても) いいよと言った大人のほうにも責任がある」という筆者の考えにウが合っています。
- (6) 「そういうこと」が指している内容をまとめると、生きものの一生を引き受けるということですから、これにあてはまらないものを選びましょう。
- (7) 本文中の「そうした感動(＝魚つりや虫とりで生きものたちから得られる感動)」をいくつも重ねていけば、自然に生きもののあつかい方がわかってくるでしょう。そうすれば、判断をすることができるようになるでしょう」にエが合っています。